

## 口永良部島の火山活動解説資料

福岡管区气象台  
火山監視・情報センター  
鹿児島地方气象台

<噴火警戒レベル3（入山規制）を噴火警戒レベル5（避難）>に上げました>

口永良部島で、本日（29日）09時59分に爆発的噴火が発生しました。この噴火に伴い、火砕流が発生し、海岸まで達しました。

火砕流の到達が予想される屋久島町口永良部島居住地域では厳重な警戒（避難等の対応）をしてください。

### 【防災上の警戒事項等】

今後も同程度の噴火が発生する可能性がありますので、噴火に伴う火砕流および噴石に厳重に警戒してください。

屋久島町の指示に従って適切に行動してください。

### ○ 活動概況

#### ・噴火の状況（図1～3）

口永良部島では、本日（29日）09時59分に爆発的噴火が発生し、噴煙が火口縁上9,000m以上まで上がりました。また、この噴火に伴い火砕流が発生し、新岳火口の南西側から北西側（向江浜地区）方向の海岸まで達しました。

---

この火山活動解説資料は福岡管区气象台ホームページ (<http://www.jma-net.go.jp/fukuoka/>) や気象庁ホームページ (<http://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/volcano.html>) でも閲覧することができます。

この資料は気象庁のほか、国土地理院、京都大学、東京大学、国立研究開発法人防災科学技術研究所、国立研究開発法人産業技術総合研究所および屋久島町のデータも利用して作成しています。

資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『数値地図50mメッシュ(標高)』を使用しています(承認番号:平26情使、第578号)。



図1 口永良部島 噴火の状況（5月29日10時00分、本村西遠望カメラによる）  
本日（29日）09時59分に爆発的噴火が発生しました。



図2 口永良部島 噴火の状況（5月29日10時01分、本村西遠望カメラによる）  
本日（29日）09時59分に発生した噴火に伴い火砕流が発生し、新岳火口の南西側から北西側（向江浜地区）方向の海岸まで達しました。



図3 口永良部島 噴火の状況（5月29日10時03分、永田遠望カメラによる）  
本日（29日）09時59分に発生した噴火では、噴煙が火口上9,000m以上まで上がりました。

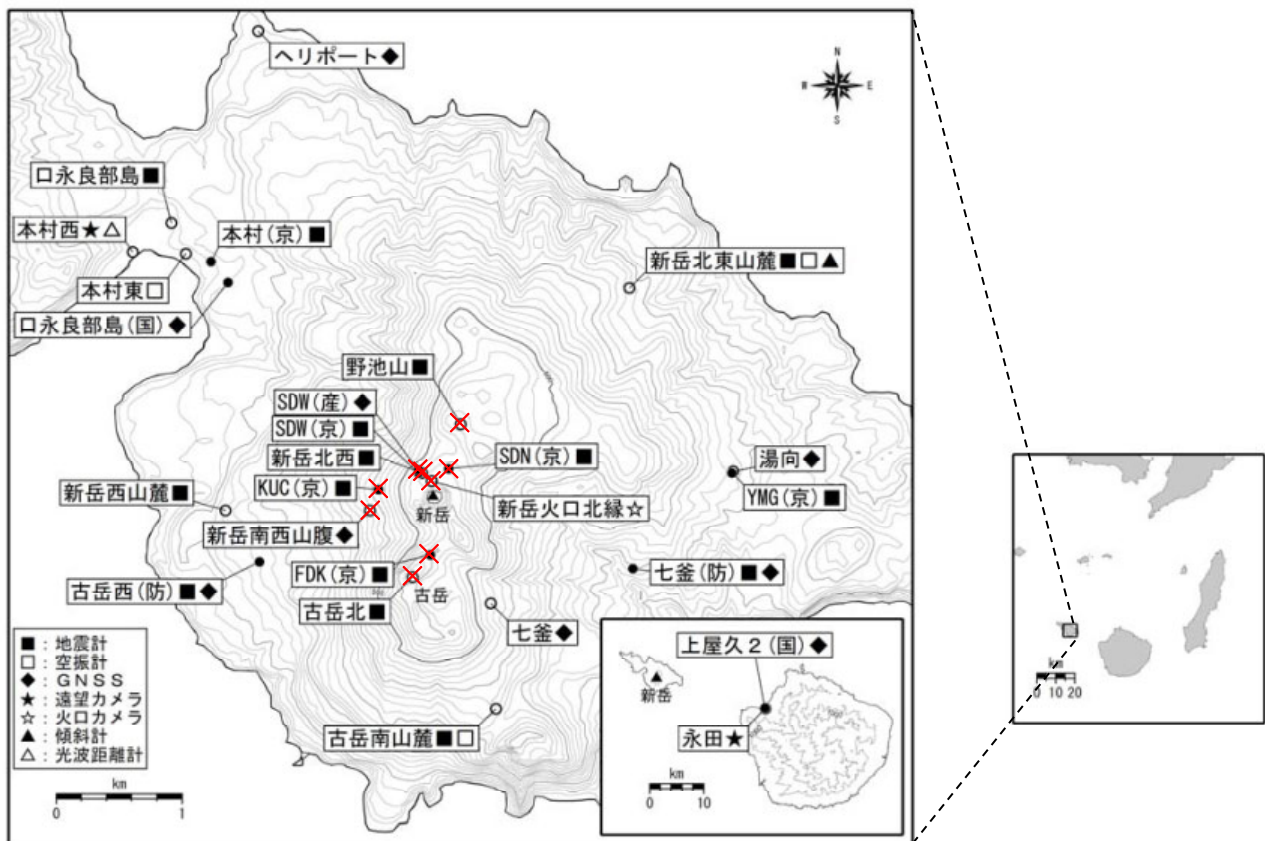


図4 口永良部島 観測点配置図

小さな白丸（○）は気象庁、小さな黒丸（●）は気象庁以外の機関の観測点位置を示しています。  
（国）：国土地理院、（京）：京都大学、（防）防災科学技術研究所、（産）：産業技術総合研究所  
山頂周辺の観測点（図中赤×印）は、8月3日の噴火により障害となっています。